

サンタ・チャラナ・ラジャ
トウカーラーム・マハーラージのアバンガ

ヴィジュ・クルカルニによる歌唱

サンタ・チャラナ・ラジャ

繰り返し

संत चरणरज लागता सहज
वासनेचे बीज जळोनी जाय ॥

*santa carana raja lagata sahaja
vasanetse bija jaloni zaya ||*

聖人たちの足のちりに触れただけで、
あなたのすべての欲望の種が焼き尽くされるほど、
彼らはとても力強い。

第1節

मग रामनामि उपजे आवडी
सुख घडोघडी वाढो लागे ॥

*maga ramanami upaze avadi
sukha ghadoghadi vadho lage ||*

その時、神の名への愛は
あなたの中で自然に湧き起こる。
そして、その時からすべての瞬間で、
あなたの喜びは大きくなるだろう。

第2節

कंठी प्रेम दाटे नयनी नीर लोटे
हृदयी प्रगटे रामरूप ॥

kaṅṭhī prema dāṭe nayanī nīra loṭe
hr̥dayī pragate rāmarūpa ॥

あなたは愛で息が詰まるだろう。

涙が頬を流れるだろう。

神の姿があなたの心の中に現れるだろう。

第3節

तुका म्हणे साधन सुलभ गोमटे
परि उपतिष्ठे पूर्वपुण्ये ॥

tukā mhaṇe sādhana sulabha gomāṭe
pari upatiṣṭhe pūrvapuṇye ॥

トゥカーラームは言う、

「これはとても簡単に聞こえるが、

聖人との交わりはめったにない。

その存在に出会うためには偉大な功德を必要とする」

このアバングの録音はシッダ・ヨーガのブックストアでお求めになれます。

クンティ・ファンフルによる紹介

トゥカーラーム・マハーラージは多くの作品を残した詩聖で、インド、マハーラーシュトラ州にあるデーフという村で 17 世紀前半に生まれました。彼は、アバンガと呼ばれる音楽に合わせた献身的な詩を何千編も作り、神への深い切望と愛でそれらを満たしました。

マラーティー語では、アバンガは、「壊れていない、破壊されない」を意味し、それは、ちょうどトゥカーラームによって描写された変わらない神への愛のようであり、私たちが自らの心の中でそれを体験するように、彼は招いています。これらの歌は、バクティ、すなわち神聖な愛と献身を呼び覚まし、私たちが内側の神の存在の中に確立するように鼓舞する力があります。

シッダ・ヨーガのグルたちは、詩聖の古代からの英知と、そのバクティ、献身的な愛の表現をたたえています。グルたちは、神への献身と崇拝の心を培う手段として、生徒にそれらのアバンガを歌い、聖人たちの教えを学ぶことを推奨しています。「サンタ・チャラナ・ラジャ」というこのアバンガの中で、トゥカーラームは聖人たちの力を称賛し、彼らと共にいることで私たちがどのように神への愛に目覚めるかを描写しています。

トゥカーラーム自身は、その人生の前半でひどい苦難と喪失に耐えており、自分がさまよった世俗の苦悩の大海を乗り越えるために、賢者たちとの交わりを渴望しました。トゥカーラームには彼を目覚めさせ導く、肉体を持つ師がいなかったため、彼よりも何世紀も前に生きたニャーネーシュワル・マハーラージや、エクナート・マハーラージ、聖人ナムデーヴなどといった彼の伝統にある聖人たちの歌をよりどころとしました。ついに、トゥカーラームの探究は実を結び、夢の中で、シッダの世界に在る覚醒したグルが彼に神聖な伝授を授けました。この歌の最後の節では、トゥカーラームは、グルの重要性を説いています。「…聖人との交わりはめったにない。その存在に出会うためには偉大な功德を必要とする」。神を求める自分自身の探究であるサーダナーを、私たちのグルの恩恵と導きと共に遂行することができ、私たちシッダ・ヨーギは何と貴重な機会を手に入れているのでしょうか。

インドの詩聖について私が魅了されるのは、彼らが、その詩の中で彼らの内なる旅の物語を共有し、示唆に富み音楽的な詩の言葉を通して私たちの行く道を鼓舞してくれるという点です。音楽の力は心に直接働くことを、詩聖たちの多くが理解していました——私も個人的にそれを体験しています。献身的な音楽を聞いたり歌ったりすることが神を体験する最も簡単な近道であると考えられているのは、このためです。献身的な音楽が伝える振動は、私たちの存在の中心で止めどなく流れる無上の愛を解き放ちます。

シッダ・ヨーガの道においては、心を込めてチャンティングしたい、歌いたいという意欲が引き出されます。なぜでしょうか。それは、私たちが自らの声を神の賛美にささげること努める時、不思議な錬金術が起こるからです。それらの歌が伝える英知が、無知を洗い流し、私たちの生来の偉大さを明らかにするのです。

ヴィジュ・クルカルニ(愛情を込めて、ヴィジュ・タイとしても知られる)は、インドの古典音楽を学んだ熟達したシッダ・ヨーガの音楽家です。彼女は音楽のささげ物を通じて何十年もの間、グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダとバーバ・ムクターナンダに仕えてきました。この録音でヴィジュ・タイは、トゥカーラーム・マハーラージの「サンタ・チャラナ・ラジャ」を甘美な調べで歌っています。そのメロディーは、幸せ、献身、平和のラサ、「特質」を伝える、ヤマン・ラーガに設定されています。

あなたがこの歌の詩とその翻訳を読む時、声に出して読んでみて、何を体験するかを見てください。メロディーに合わせてハミングし、あなたの心が感じるものを見てください。一緒に歌って、あなたの状態にどんな変化が起こるかを見てください。敬愛を込めて献身的な歌を歌う時、私たちは神とグルに対し私たちの祝福された人生への感謝をささげています。トゥカーラームがこのアバンガで言っているように、「聖人たちの足のちりに触れただけで、あなたのすべての欲望の種が焼き尽くされるほど、彼らはとても力強い」のです。

聖人と共にいる体験をするために、私たちはトゥカーラムの例に倣って歌うことができます。私はほぼ 30 年にわたるシッダ・ヨーガの音楽家としてのセーヴァーを通して、自分が美しく歌っていると感じようが感じまいが、本当に大切なのは私のささげる気持ちが誠実であることだと学びました。純粋な心で歌えば、神は聞いてくれます。そして私が神に少しの愛を贈る時、神は愛を千倍にして返してくれるのです。



© 2022 SYDA Foundation®. 著作権所有。